

勝山市北谷町小原集落の星空観光の取り組みについて*

多米 淑人^{*1}

About approach of starry sky sightseeing in the Katsuyama, Kitadani-Cho Ohara Village

Yoshihito TAME^{*1}

^{*1} Faculty of Engineering, Department of Architecture and Civil Engineering

Ohara village is a mountain village of the special heavy snowfall area in the valleys of the Ishikawa prefectural border. There are only two residents in this village, so it is thought that there will be no settlement in the near future. In this paper about approach of starry sky sightseeing in the Katsuyama, Kitadani-Cho Ohara Village. A total of eight meetings were held for sightseeing tours, with the main theme being starry sky. The questionnaire favorable opinion a lot, was a very meaningful tour. But there are a few bad points, this is towards the 2019, and there is a need to improve. Also 2019 is scheduled to conduct a similar tour.

Key Words : Starry sky sightseeing, Old House, Starry sky tour, Collaboration

1. はじめに

福井県勝山市北谷町小原は石川県境の山間にある特別豪雪地帯の山村集落で、集落内は段々の石垣の上にたつ民家や小道の脇を流れる小川、多くの草花など趣ある風景が残る自然豊かな土地である (Fig. 1). 当集落は明治期において 90 戸余、400 人ほどの人々が暮らしていたが、38 豪雪や 56 豪雪などを契機として、年々人口は減り続け、近年の平成 18 年豪雪によって多くの空き家が破損、倒壊し、現在は 15 余戸の住宅が残るものの、住民は 2 戸 2 人 (集落人口は 1 人) という廃村の危機が迫った限界集落である。

この小原集落の廃村の進行を遅らせ、あるいは廃村になってしまった場合においても固有の伝統や集落景観を保持しつつ小原という空間の存続を目指すことを目的として、(旧) 地元民と大工棟梁、福井工業大学工学部建築土木工学科が連携事業として立ち上げた小原 ECO プロジェクトがこれまで行なってきた活動については既に報告している⁽¹⁾。

本稿は、これまでに修復した古民家 (Fig. 2) や集落景観、国際的に銀賞に相当する 21.4 等級⁽²⁾の星空などの集落遺産を活用して、一般の方々を対象として実施した「勝山小原貸切スターツアー」の取り組みについて報告するものである。なお、本稿は私立大学研究ブランディング事業として実施したものである。



Fig. 1 小原集落の風景



Fig. 2 修復が完了した民家 (岸下稔家住宅)

* 原稿受付 2019 年 3 月 29 日

^{*1} 工学部 建築土木工学科

E-mail: tame-yoshi@fukui-ut.ac.jp

2. 星空観光実施への取り組み

2.1 関係団体による協議

小原集落の星空をメインテーマとした、一般の方々を対象としたツアーを実施するために、下記のように計 8 回の協議を実施した。

- ・2018 年 6 月 7 日 17:30～ (福井工業大学 3 号館多米研究室)
出席者：中城智之氏 (本学ブランディング事業メンバー)、國吉一實氏 (小原 ECO プロジェクト代表)、多米淑人 (本学ブランディング事業メンバー)
内 容：小原で市民を対象としたツアーを実施する場合の交通手段とコンテンツについて検討
- ・2018 年 6 月 18 日 17:30～ (小原集落)
出席者：覺井浩一氏 (JR 西日本担当者 (福井支店長)), 仲野勲氏 (JR 西日本担当者 (福井支店長代理)), 今井三偉氏 (勝山市観光まちづくり株式会社担当者)、國吉一實氏、多米淑人
内 容：小原で一般観光客を対象としたツアーの可能性について協議した。
- ・2018 年 6 月 28 日 17:00～ (えちぜん鉄道本社)
出席者：谷内大地氏 (えちぜん鉄道株式会社担当者)、國吉一實氏、多米淑人
内 容：えちぜん鉄道を用いた小原でのツアー実施に向けた打合せ←2018 年 9 月 23 日 (日) に開催決定
- ・2018 年 7 月 11 日 16:30～ (福井工業大学 1 号館 1 階会議室)
出席者：覺井浩一氏、今井三偉氏、國吉一實氏、下川勇氏 (本学ブランディング事業メンバー)、江藤浩一氏 (福井工業大学事務局担当者 (社会連携推進課長)), 吉田風太氏 (同 (同課長代理)), 多米淑人
内 容：2018 年 9 月 23 日に実施する小原でのツアー実施に向けた打合せ (JR 西日本、勝山市観光まちづくり株式会社との協力体制の確認)
- ・2018 年 7 月 19 日 16:50～ (福井工業大学 1 号館 1 階会議室)
出席者：覺井浩一氏、今井三偉氏、谷内大地氏、國吉一實氏、多米淑人
内 容：2018 年 9 月 23 日に実施する小原でのツアー実施に向けた関係 5 団体 (えちぜん鉄道、JR 西日本、勝山市観光まちづくり株式会社、小原 ECO プロジェクト、福井工業大学) 合同打合せ (役割分担確認) ←ツアー名称は「勝山小原貸切スターツアー」に決定
- ・2018 年 7 月 24 日 20:30～ (福井工業大学 3 号館多米研究室)
出席者：橋本芳紀氏 (有限会社 企画ゆのせ商店担当者 (星空案内人®)), 中城智之氏、國吉一實氏、多米淑人
内 容：「勝山小原貸切スターツアー」時に実施する小原での星空解説について
- ・2018 年 9 月 18 日 15:00～ (福井工業大学 3 号館多米研究室)
出席者：覺井浩一氏、今井三偉氏、谷内大地氏、中城智之氏、國吉一實氏、多米淑人
内 容：「勝山小原貸切スターツアー」の実施に向けた役割再確認と事前打ち合わせ
- ・2018 年 10 月 15 日 17:30～ (福井工業大学 1 号館 1 階会議室)
出席者：覺井浩一氏、今井三偉氏、谷内大地氏、中城智之氏、國吉一實氏、江藤浩一氏、多米淑人
内 容：「勝山小原貸切スターツアー」の反省会 (ツアー終了時採取アンケート結果配布)

2.2 「勝山小原貸切スターツアー」内容

上記の協議内容をもとに2018年9月23日（日）に「勝山小原貸切スターツアー」を実施した。広報用のポスター（Fig. 3）はえちぜん鉄道株式会社が作成、配布、掲示し、JR 西日本福井支店覚井浩一氏の協力によってJR 福井駅改札前にも告知ポスターを掲示した（Fig. 4）。

当日は、定員50名に対して43名（大人：38名、小人：4名、幼児：1名）が参加して頂いた。ツアーの内容はFig. 3の通りで、福井駅小原間は、えちぜん鉄道の貸切電車（Fig. 5）と貸切バスで運行し、往路の車内では橋本芳紀氏（星空案内人[®]）と國吉一實氏（小原ECOプロジェクト代表）による星空事前解説と小原集落の概要解説を行った（Fig. 6）。小原集落着後は、（限界）集落内を散策（Fig. 7）した後に、勝山市観光まちづくり株式会社の今井三偉氏に手配して頂いた「宙弁」と小原名物のイワナの塩焼きを修復済みの古民家などで食し（Fig. 8）、その後は集落からバスで20分程かけて星空観賞場所（登山道駐車場、標高約1140m）へ移動した。当日はやや曇天であったが、星空観賞時は雲が切れ、多数の星々、中秋の名月さらに宇宙ステーションきぼうも観賞することができた（Fig. 9）。星空観賞場所には、望遠鏡、星座観察用双眼鏡、星座板などを用意し、参加者が自由に天体観測できる環境を整え、併せて、橋本芳紀氏からの現場での星空解説（Fig. 10）を実施した。近年流行しているSNS用のフォトスポット（Fig. 11）として、中秋の名月にちなんで、お月見セットと満月ボール型ライトを設置し、参加者が能動的に体感できるものも用意した。また、星空観賞場所は低温であることから、シシ汁やコーヒー、ギャラクシードーナツを提供し（Fig. 12）、暖を取りつつ星空を体感する演出を行なった。約1時間の星空観賞後は、バスでナイトサファリ（林道に出没する鹿、猪、狸などの野生動物）を体験しつつ小原集落に戻り、トイレ休憩の後、勝山駅へ向かい、貸切電車にて帰福、ツアーを終了した。復路の電車内では、車内の電気をすべて消灯し、非日常の空間を造り出し、電車内で星空映写や中城智之氏からの光害による星空観賞の影響などを解説し、福井駅到着前には本ツアーのアンケートを採取した。



Fig. 3 告知ポスター



Fig. 4 JR 福井駅改札前のツアー告知ポスター



Fig. 5 えちぜん鉄道貸切電車



Fig. 6 車内での星空事前解説



Fig. 7 集落散策



Fig. 8 修復民家内での「宙弁」実食



Fig. 9 星空観賞



Fig. 10 橋本芳紀氏（星空案内人[®]）による星空解説



Fig. 11 フォトスポット



Fig. 12 ギャラクシードーナツ

2.3 「勝山小原貸切スターツアー」反省点と今後の改善点

ツアー終了時に参加者からアンケートを採取した（Fig. 13）. 参加者 43 名のうち小人および幼児計 5 名を除いた 38 名に用紙を配布，途中下車のため回収できなかった 5 名以外の 33 名からアンケートを採取することができた³⁾. 回収率は約 87%である．アンケートの中でも特にツアーの満足度に関するもの（Q2～6）とツアー再参加の意思（Q7）についてみると（Figs. 14, Table. 1），Q2 の事前情報の告知に関しては、「満足」と「やや満足」を合わせても 40%を下回るものの，それ以外のツアー内容を聞いた Q3～Q6 は「満足」と「やや満足」の計がいずれも 78%以上ある．再参加の意思を聞いた Q7 では、「参加したい」と「機会があれば参加したい」がそれぞれ 15 名ずつチェックを付け，計 30 名（約 91%）が再参加の意思を示している（Figs. 15）.

このアンケート結果から，ツアーに関しての満足度は高く，今回の参加者がリピーターとなる可能性も非常に高いといえる．しかし，自由意見の欄にはホスピタリティ不足，星空観賞時間不足，学生を労う意見もみられた．これはツアー後の関係者反省会でも挙げた意見で，来年度以降に向けては，ホスト側のホスピタリティやツアー自体の質の向上，学生に頼らないツアー実施に向けた運営体制の構築が必要であり，改善すべき点であるといえる．

勝山市北谷町小原集落の星空観光の取り組みについて

勝山小原貸切スターツアーに参加された皆さんへ、アンケートのご協力をお願いします。
※アンケート内容は主催者側でのみ利用させていただきます。率直なご意見を聞かせ下さい。

性 別: 男 ・ 女

お住まい: 都・道・府・県 市・町・村・区

年 代: ~19歳 ・ 20~34歳 ・ 35~49歳 ・ 50歳以上

参加形態: 一人 ・ 恋人 ・ 夫婦二人 ・ 友人
ファミリー(小学生以下連れ) ・ ファミリー(中学生以上連れ) ・ その他

Q1 このツアーをお知りになった情報媒体は何ですか？
☐ えちぜん鉄道の駅チラシ ☐ JRの駅チラシ ☐ えちぜん鉄道の Web サイト
☐ JR西日本の Web サイト(マイフェバ) ☐ その他の Web サイト ☐ 新聞記事 ☐ 友人・知人の口コミ
☐ その他 ()

Q2 事前情報についてはいかがでしたか？
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()

Q3 電車内での企画内容はどうでしたか？
 (往路)
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()
 (復路)
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()

Q4 お弁当(そらべん)はどうでしたか？
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()

Q5 現地(集落・林道終点)での企画内容はどうでしたか？
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()

Q6 参加して、全体の満足度はどうでしたか？
☐ 満足 ☐ まあ満足 ☐ ふつう ☐ やや不満 ☐ 不満
 コメント()

Q7 また参加したいですか？
☐ 参加したい ☐ 機会があれば参加したい ☐ 参加しない

Q8 その他、ご意見・ご要望がありましたらお書きください。
 ()

貴重なお時間をいただきありがとうございました。このアンケートの集計結果につきましては、今後のプログラム作りなどに活用させていただきます。

Fig. 13 ツアー終了時採取アンケート

Table. 1 アンケート結果(満足度関連:Q2~6)

	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	計
Q2	4 (12.1%)	9 (27.3%)	16 (48.5%)	3 (9.1%)	1 (3.0%)	—	33 (100%)
Q3(往路)	10 (30.3%)	16 (48.5%)	5 (15.2%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	—	33 (100%)
Q3(復路)	14 (42.4%)	14 (42.4%)	3 (9.1%)	1 (3.0%)	—	1 (3.0%)	33 (100%)
Q4	18 (54.5%)	10 (30.3%)	4 (12.1%)	1 (3.0%)	—	—	33 (100%)
Q5	10 (30.3%)	16 (48.5%)	5 (15.2%)	2 (6.1%)	—	—	33 (100%)
Q6	16 (48.5%)	13 (39.4%)	3 (9.1%)	—	—	1 (3.0%)	33 (100%)



Fig. 14 アンケート結果 Q2~6 (満足度関連) の割合

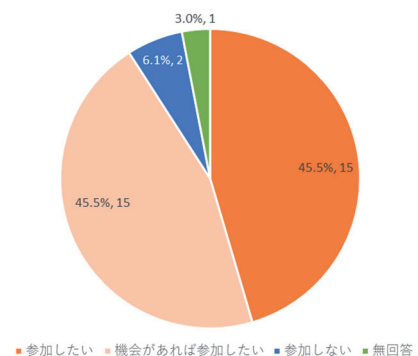


Fig. 15 ツアー再参加の割合

5. おわりに

以上、2018 年度に実施した一般の方々を対象とした「勝山小原貸切スターツアー」の取り組みについて報告してきた。小原 ECO プロジェクト、えちぜん鉄道株式会社、有限会社企画ゆのせ商店、勝山市観光まちづくり株式会社、JR 西日本福井支店、本学の協働のもとツアーを実施できたことは非常に有意義であり、本学のブランディング事業として大きな成果といえる。ツアー自体も定員 50 名に対して 43 名の参加であること、アンケート結果が好意的なものが多いことから、初回としては成功といえる。但し、小原 ECO プロジェクトが単独でも実施していくための改善すべき点が多くみられたことから、来年度以降に向けて更なる協議および検討が必要である。

小原 ECO プロジェクトが目標とする、「小原集落の廃村の進行を遅らせ、あるいは廃村になってしまった場合においても固有の伝統や集落景観を保持しつつ小原という空間の存続を目指す」のためには、集落遺産である古民家や集落景観だけでなく、今回のような国際的に銀賞に相当する 21.4 等級の星空を活用することは非常に重要で、今後も継続してツアーを実施する予定である。

謝辞

本稿内の「勝山小原貸切スターツアー」の実施にあたり、小原集落、小原 ECO プロジェクト、えちぜん鉄道株式会社、有限会社企画ゆのせ商店、勝山市観光まちづくり株式会社、JR 西日本福井支店、本学学生、大学事務局には、多大なご協力を頂いている。ここに記して感謝申し上げる。

註

- (1) 拙稿、勝山市北谷町小原集落の再生・活性化活動報告 福井工業大学研究紀要 第 48 号 pp.180-188. 平成 30 年 6 月
- (2) 福井工業大学工学部電気電子工学科中城智之教授の計測による。
- (3) アンケートの配布・回収はえちぜん鉄道株式会社、集計は小原 ECO プロジェクトと多米が行なった。

(2019 年 4 月 26 日受理)